

事業所名	アミーユ平井 カトレア
日付	2008/11/21
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員 介護福祉士 介護支援専門員 看護師
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります!)	※

## 1. 評価結果の概要

<p><b>講評</b></p> <p>全体を通して（特に良いと思われる点など）</p> <p>「お一人おひとりの尊厳を重視したオーダーメイドケア」をキャッチフレーズにスタッフのきめ細かいケアが提供されている施設です。施設周辺は自然に恵まれ、公共交通機関も近くにあり、家族が訪れやすい立地条件にある施設となっています。</p> <p>その中でも特に良いと思われる点は</p> <p>① 研修体制の充実化（外部研修や内部研修に参加しやすい環境にスタッフのスキルアップを図っている。）</p> <p>② 医療機関との連携が密になされ、入居者さんの安心した生活が提供されている。</p> <p>③ 地域との情報交換がオープンになされており、地域交流に向けて積極的に取り組む体制が整えられている。（地域行事への参加）</p> <p>④ 施設環境における体制をスタッフ全員が理解しながら日々のケアに支障がないように工夫し、必要な対策に向けての取り組みが窺われる。</p> <p>⑤ 安全な生活が維持されるよう避難訓練の実施や清潔な生活空間が提供されている。</p>
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>地域交流への構想は豊富にあるのでスタッフ間で協議され、今一層地域の中に溶け込む施設として成長して欲しい。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	家庭的な雰囲気の中で、入居者さんのペースに合わせてながら普通の生活に近づけて行く支援を心掛けている。また、入居者さんの家族や友人が気軽に立ち寄れるホームづくり、地域の一員として開かれたグループホームであることを目指している。		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	入居者さんのペースを尊重し、落ち着いた生活への支援に取り組んでいる。また、家族が気軽に訪問できるよう、ホーム全体の雰囲気作りや、コミュニケーションを大切にしている。		

### III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援		○
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	日常生活の中で、個々の入居者さんの力を理解し、本人の意思やできることを尊重している。その中でも、居室の出入り、更衣・入浴・排泄の支援において、個人の尊厳の保持に取り組んでいる。		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人のできることに配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策		○
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	家族とのコミュニケーションを図りながら、入居者さんや家族の意見や要望を聞き取り、サービスの質向上に努めている。毎月の研修を行なうことで、介護の質向上を図ると共に、カンファレンスを活用し、問題の原因や対策を共有化し、予防と解決に努めている。		